

NKE

# 空気環境改善にも「CO<sub>2</sub>れんら君」

多機能の簡易  
情報連絡端末

## 注意喚起や傾向分析用途で



林 智広リーダー

NKE(社長＝中村道一氏、本社・京都市伏見区)はすべてのモノがインターネットにつながるIoTを既存設備への後付けで簡単に構築できる

簡易情報連絡端末「れんら君」シリーズの多機能タイプ「CO<sub>2</sub>れんら君」を空気環境の改善を促す注意喚起や傾向分析用途で提案している。空気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)濃度をセンサーで連続的に測定し、モニター画面に表示させる端末。CO<sub>2</sub>濃度以外にも温湿度状況を同画面に表示すること

ができる。これらの空気環境から想定される熱中症やインフルエンザの発症を未然に防ぐ警戒レベルを表示し、警報を発報することも可能。データロギング機能を有していることから、同社は室内空気環境の安全・安心を担保するための見守り用途で活用できるとみてい

「CO<sub>2</sub>れんら君」の設置方法は換気状況を可視化したい場所に本体を据え付け、LAN回線やHDMIケーブルを用いてパソコンやモニターに接続するだけ。測定データをパソコン、スマートフォン(スマホ)、タブレット端末などの表示画面で確認することが可能

### 刷新したモニター画面表示の一例



[NKE・NHK・TBS・TBS・NHK・TBS]

は、CO<sub>2</sub>濃度のほか、温度、湿度の各数値を常時表示する。また温度・湿度環境から算出された熱中症警戒レベル(レベル1～レベル4の4段階)、インフルエンザ警戒レベル(同)のいずれかを季節に合わせて画面上で切り替え表示

できる。例えば、CO<sub>2</sub>濃度が設定値以上になった場合に警報ブザーを鳴らしたり、通知メールを任意の宛先へ送付したりする警報ブザーやメール設定機能も有している。過去400日分の状態記録を自動保存する機能も搭載している。

販売促進グループの林智広リーダーは「熱中症やインフルエンザ発症への警戒を促す機能に加え、CO<sub>2</sub>濃度を測定して表示することで、空調使用時に換気量を十分確保できているかどうかの

判断基準を示せる。空気安全・安心を確保するためのデータ分析にも使える。多機能である点が最大の特長」と話す。

同社は昨年、「CO<sub>2</sub>れんら君」の画面表示内容を刷新した。従来の数値表示を残しつつ、レベル表示を追加導入した。「これまでの画面表示内容より全体的に見やすくなっている上、レベル表示の導入によって警戒レベルをより直感的に判断できる(林リーダー)とし、いっそう視認性が向上している。